

## 市内での移動実態の把握に向けた分析手法

### 1. 携帯 GPS データによる分析

---

- ・ 昨今、携帯の位置情報（GPS データ）を活用した人流分析技術が進んでおり、今回の検討においても、市内外の地域間の移動状況を確認するため、携帯 GPS データを活用します。

#### 【携帯 GPS データの概要】

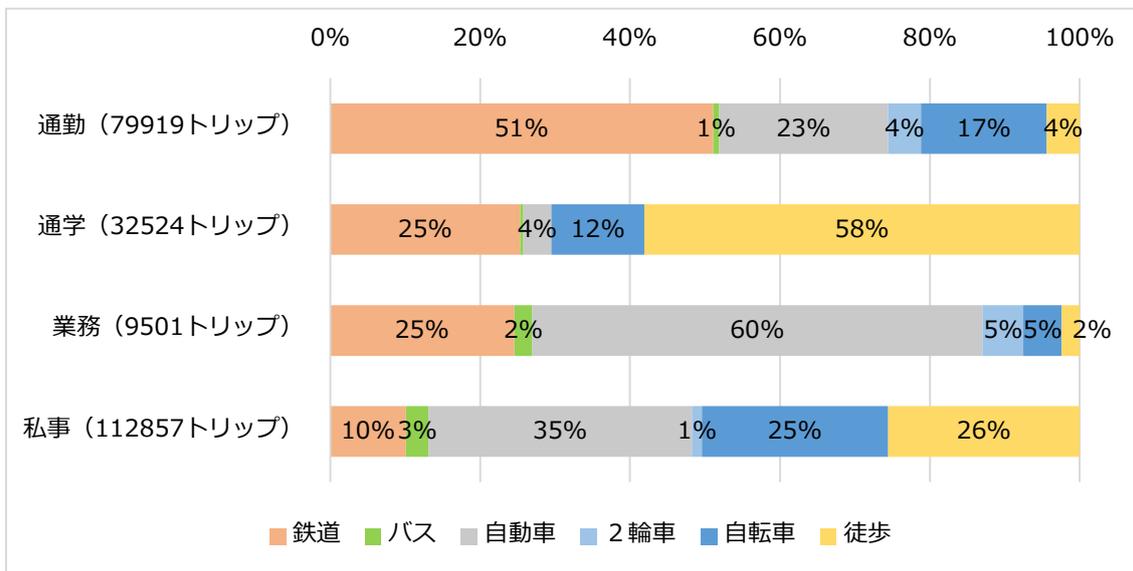
- ・ 使用データ：ゼンリン混雑統計（ドコモ契約者のうちアプリを導入している方）  
※日本の人口の約 5%をカバー
- ・ データ期間：約 1 年（データが蓄積されているため、直近 1 年分まで遡って使用）
- ・ データ内容：250mメッシュ（格子状）ごとの年代別時間帯別移動発生量、メッシュ間移動量  
※移動手段は徒歩、鉄道、その他（自動車等）で把握可能  
※サンプル数が少ない場合、秘匿処理がされるため、ゾーン設定は今後検討

## 2. 東京都市圏パーソントリップ調査による分析

- ・コロナ流行前であるが、平成30年に実施された東京都市圏パーソントリップ調査を使用し、市内外の移動について、目的別や移動手段別の流動を把握します。

### 【分析イメージ】

- ・茅ヶ崎市で発生する移動の目的別移動手段構成



※茅ヶ崎市を発地とする移動全てを対象

※移動目的のうち帰宅、その他、不明を除く

※移動手段のうちその他、不明を除く

- ・鉄道駅までの移動手段の構成比

